

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 毒ガス
問題 第2次移送

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43781

(5) 現地の動向

秘

アメリカ局長
参事官
北米第一課

米軍

米2次毒ガス撤去に付いての現地の動き

46. 3. 31
北米1 (途中)

本31日付毎日新聞朝刊の事件記事(別添参照)につき、岡野書記官より現地の動きを聴取した結果次のとおり。

(米軍自体の工事であった)

1. 瑞慶山ダムの爆破工事作業は、米2次毒ガス兵器の移送路工事には関係ない。(沖縄報352号に報告あり。)

2. 昨30日琉政大島渉外部長は、アイズ少将と会い、米2次毒ガス移送に付いての24項目の意向書を手交したが、これに対し同少将は2~3日中に答面を待つ回答する旨約した趣がある。(本件31日電報で報告する由のも、同日刻報)

3. 米2次移送に際し、米軍民政部に琉政の3機関による村集合同委員会を設置おこし

とあり、琉政はこれに参画する8委員(高川総務局長、大島渉外部長を含む8名)より25名の学者グループの委員を明4月1日任命する。(電報で報告する由のも、31日夕刻報)

4. 米2次移送につき、^(米)半側、^(琉)琉政は前記委員会を十分活用し、米2次移送の路につき住民を納得せしめる方針である。

5. 半側、琉政の協力体制は、この数日中に固まるものとみられ、準備としては、慎重に執行を注目にしている。

6. 本村、米2次移送の路につき、石川市会は3月29日反対決議を行なった以外に、現地の動きはないと南にしている。

